



## 新型コロナウイルスワクチンの追加(3回目)接種開始

2月1日から個別医療機関、2月10日から集団接種会場(メイシアター、千里市民センター)でワクチンの追加

(3回目)接種を開始しました。2回目接種後、一定期間経過した対象者へは、接種券を送付しています。接種を希

望する人は、予約方法などを接種券に同封しているお知らせや市ホームページで確認してください。

## 東京大学大学院教育学研究科と教育・研究交流連携事業に関する協定を締結

1月27日、市は東京大学大学院教育学研究科と「身体機能の制約ではなく、社会や環境のあり方、仕組みが障害を作り出している」という「障害の社会モデル」の考え方を学校教育に取り入れ、インク

ループ教育に寄与する教育プログラム、カリキュラム、学びの場を共同で創造していくことを目的に協定を締結しました。今後は、教材の共同開発などの取り組みを進めていく予定です。



左から飯野特任助教、小国教授、小玉科長、後藤市長、西川教育長、草場教育センター所長

## すすいバス千里山地区の試験運行開始

2月17日から、阪急千里山駅〜南千里駅を周回する、市内2地区目のコミュニティバスが試験運行を開始しました。同バスは1日11便運行され、1回200円で利用できま

す。今後、利用状況をもて本格運行の検討を行う予定です。問総務交通室(佐竹台1 TEL 61555・3531 FAX 6872・1652)。



このバスが走ります



市長コラム No.79

### こもれび通り

### フローレンス

後藤圭二



コラムの音声版はこちら

清潔、食事、換気など、看護における配慮の大切さについて詳細に書かれた「看護覚え書」という本があります。その著者であるフローレンス・ナイチンゲールは看護の仕事で「自身では決して感じたことのない他人の感情のただ中へ、自己を投入する能力。これほどそれを必要とする仕事はない」と表現しており、160年後の今も、看護師のバイブルとなっています。

コロナ禍に命がけで患者と向き合う看護師の気持ちを感じたいと手に取ったこの本からは、人に寄り添ううえでの具体的で大切な心得を読み取ることができます。

社会は、その度合いは違えどさまざまなエッセンシャルワーカーによって成り立っていることをコロナ禍により痛感させられました。そしてまた、ある人にとって欠かすことのできない身近な誰かといえば「エッセンシャルパーソン」であることを。

彼女は言います。「私の名前を覚えておいて。きっとあとであなたは私の名前を叫ぶから」と。

それは、誰かを心からケアする、支えるために、すべてのエッセンシャルパーソンに共通して必要な、また持たなければならない覚悟が込められた語りかけなのです。

